



平成26年度

文部科学省大学改革推進事業
がんプロフェSSIONAL養成基盤推進プラン

都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育プログラム

特別講義Ⅳ

帝京大学大学院 医学研究科

「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」はがん診療・研究のための教育拠点を構築し、長期的な人材育成を目指しています。

本学では「都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育」プログラムを実施しており、その一環として、スキルアップを目指す医療スタッフの方々に大学院医学研究科の講義の一部を公開します。

【申込方法】

1. 対象 医師・看護師・薬剤師・その他医療従事者
2. 受講申請 受講したい講義の1週間までに下記いずれかの方法によりお申込みください。
 - ①がんプロHP専用申込みフォーム
<http://www.teikyo-ganpro.jp/> <セミナー情報>をご参照ください。
 - ②郵送、FAXまたはメール(PDFファイル)にて「受講申請書」(最終ページ参照)に希望日および必要事項をご記入の上、下記宛までお申込みください。

※お申込みの不備がある場合には、受講できない場合がございます。ご注意願います。
受理後、お申込み時にお知らせいただいたメールアドレスへ確認メールをお送りいたします。
連絡がない場合はお手数ですが、下記問い合わせ先までご連絡願います。
3. 受講料 1科目 2,000円 ※受講コマ数に関わらず一律となります。
受講日初日に板橋キャンパス大学棟1階 105教室にてお支払い下さい。
4. 受講証 受講料と引き換えに「受講証」をお渡します。
「受講証」がない方の受講はできません。
「受講証」は受講終了日にご返却願います。
5. 会場 帝京大学 板橋キャンパス 大学棟1階 105教室
講義日程・教室は変更となる場合がありますのでご了承願います。なお、変更の際はお申込み時にお知らせいただいたメールアドレスまたは携帯電話にご連絡いたします。
6. 修了証 規程コマ(8コマ)以上受講(e-learning講義視聴含む)されました方には本学からの修了証を発行いたします。
修了証は後日に「受講申請書」に記入の現住所に郵送させていただきます。
7. その他 交通費は各自でご負担願います。
申請されました受講日に出席出来ない場合、または申請されている受講を科目内で追加される場合は下記までご連絡願います。
8. 問合せ先 帝京大学 板橋キャンパス 教務課 がんプロ担当
〒173-8605 板橋区加賀2-11-1 TEL 03-3964-3294(直通)
受付・月～金曜日(平日) 8:45～16:45 FAX 03-3964-8396
E-mail : ganpro@med.teikyo-u.ac.jp

帝京大学がんプロホームページ

<http://www.teikyo-ganpro.jp/>



***** がんプロ全国e-learningクラウドについて *****

■□■ e-learningとは・・・

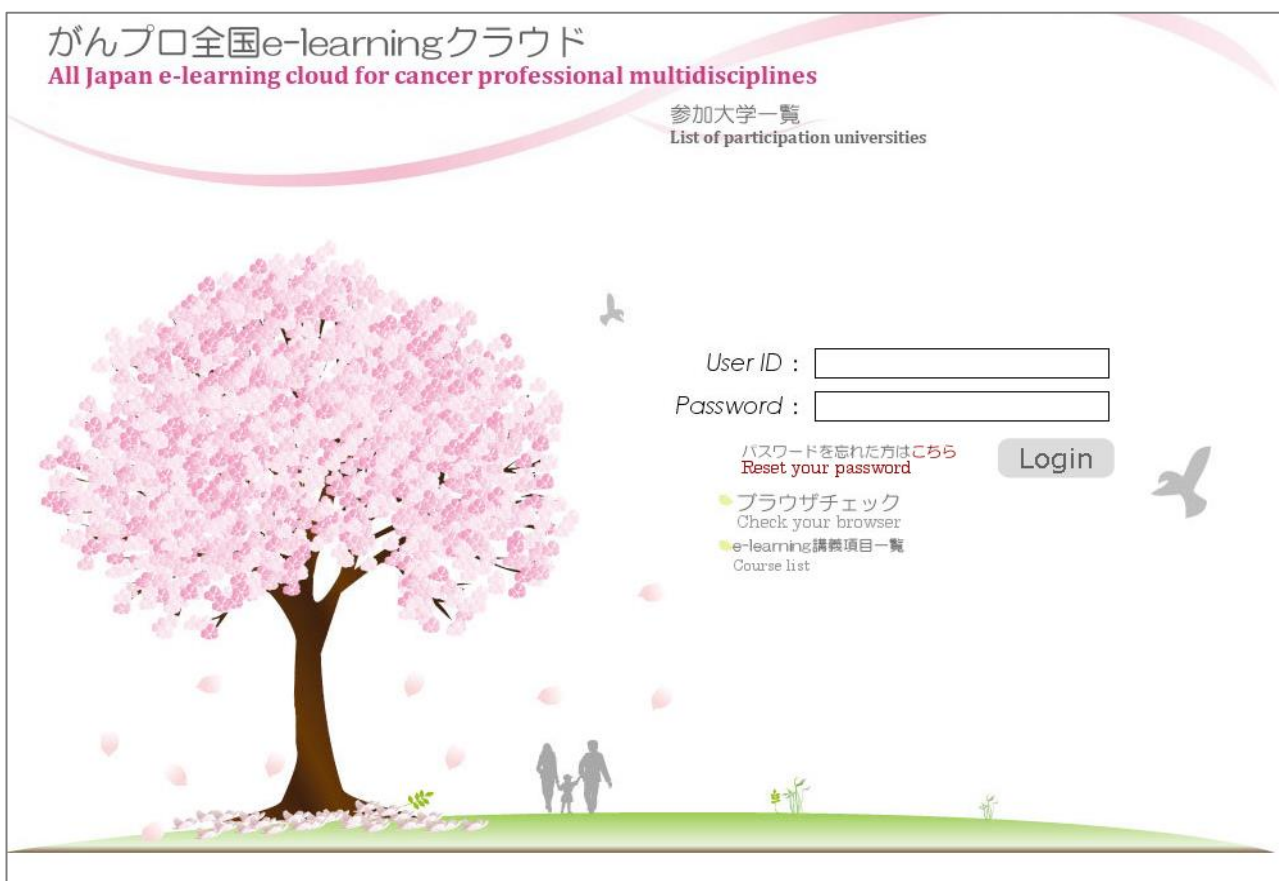
e-learningとは、自由な時間(研究や仕事の合間)に自由な場所(自宅、職場等)で自分の端末からインターネットでサーバーにアクセスし、講義が閲覧可能なシステムとなっております。このシステムは、ネットワーク環境さえ整っていればいつでもどこでも学ぶことができる大変便利で有意義なシステムです。

参加できなかった講義、もう一度聞きたい講義などございましたら、是非e-learningをご活用ください。

■□■ がんプロ全国e-learningクラウド

帝大病院がんプロの特別講義受講生は、下記URLより がんプロ全国 e-learning クラウドの聴講が可能です。聴講を希望する受講生は開始にあたりIDとパスワードの発行が必要となります。受講料をお支払いいただく際に所定の利用申請書類をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上、がんプロ事務局までお手続きください。

URL: <https://pj2.md.tsukuba.ac.jp/pj2/login.php>



がんプロ全国e-learningクラウド
All Japan e-learning cloud for cancer professional multidisciplinary

参加大学一覧
List of participation universities

User ID :

Password :

パスワードを忘れた方はこちら
Reset your password

ログイン Login

ブラウザチェック
Check your browser

e-learning講義項目一覧
Course list

※聴講方法については、ID・パスワード発行時に視聴マニュアルをお渡しいたします。

※一部の講義で聴講不可の講義がございます。あらかじめご了承ください。

■□■ 修了証の発行について

e-learningでの聴講と合わせて8コマ以上を受講されると、本学からの修了証を発行します。

*** 特別講義Ⅳ 基本的緩和医療医師養成コース ***

第1回 平成26年8月25日(月)16:50-18:20

はじめに・・・有賀悦子(帝京大学医学部緩和医療学講座(緩和ケア内科)教授) 開講にあたってあいさつ



タイトル:『緩和医療概論と身体1:消化器症状の対処』

教員:大澤岳史(帝京大学医学部緩和医療学講座 講師)

がん対策基本法の施行により緩和ケア提供体制の強化がすすめられ、7年経つが緩和ケアの浸透は未だに十分とは言えず、また、今後都心部を中心に進むであろう高齢化により、新たな問題が生じつつある。

このような、緩和医療を取り巻く様々な問題を紹介し、緩和ケアの基本となる包括的医療を考え、症状緩和として消化器症状について学ぶ

第2回 平成26年8月25日(月)18:30-20:00



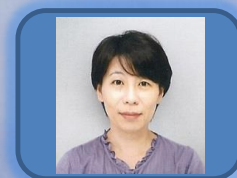
タイトル:『在宅緩和ケア:がんと非がんの緩和ケアの実際』

教員:平原佐斗司(梶原診療所)

緩和ケアは疾患や年齢を問わず、生命を脅かす疾患による問題に直面しているすべての患者とその家族に対して提供されるべきケアである。つまり、緩和ケアの対象はがんのみならず、多くの非がん疾患に、また成人のみならず小児にも及ぶ。現代人のほとんどの人(約6割)に緩和ケアのニーズがあり、緩和ケアを必要とする人たちには疾患に関わらず、何をおいても優先して医療とケアがとどけられなければならない。

本講義では、在宅でのがんの緩和ケアの実際と主要な非がん疾患(心不全、COPD、認知症、神経難病等)の緩和ケアの実際と考え方について解説する。

第3回 平成26年9月4日(木)16:50-18:20



タイトル:『心理社会的ケア:がん医療における心理社会的ケア』

教員:浅井真理子(帝京平成大学大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻 准教授)

がん患者やその家族に生じる心理的反応に関して、多様性の捉え方や包括的アセスメントの考え方を紹介する。また、がん医療における心理社会的ケアとして、予防(情報提供、医師-患者間のコミュニケーション)、早期発見(スクリーニング、コンサルテーション)、治療(薬物療法、心理療法)の三段階ストラテジーに関する最新の研究データをわかりやすく解説する。

第4回 平成26年9月4日(木)18:30-20:00



タイトル:『精神スピリチュアルケア:緩和医療における精神的ケア,スピリチュアルペイン概要』

教員:赤穂 理絵(がん・感染症センター都立駒込病院 神経科部長)

がん患者に通常反応としてみられる心理状態とともに、がん患者に高頻度に合併する精神症状の診断、治療について解説する。家族ケア、びあサポートについて紹介する。また、がん進行期に生じやすく対応が難しい、スピリチュアルペインをどう捉えるか、医療スタッフとしてどのように寄り添うかについて、事例をまじえて考察していく。

第5回 平成26年9月11日(木)16:50-18:20



タイトル:『オピオイドの薬理:オピオイドの鎮痛効果を支配する薬物動態および脳移行性』

教員:出口 芳春(帝京大学薬学部 教授)

オピオイドの鎮痛効果は、脳内オピオイド受容体に対する結合活性のみならず、投与後の薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)に大きく影響される。とりわけ血液脳関門の薬物輸送機能は、オピオイドの中枢効果を支配する重要な因子である。本講義では、オピオイドの投与量設定に必要な、薬理学および薬物動態学の基礎知識に加え、麻薬性鎮痛薬および新規ペプチド性鎮痛薬の血液脳関門透過機構に関する我々の研究成果を中心に解説する。

*** 特別講義Ⅳ 基本的緩和医療医師養成コース ***

第6回 平成26年9月11日(木) 18:30-20:00



タイトル:『身体症状2; 痛みの対処』

教員: 有賀悦子(帝京大学医学部緩和医療学講座 教授)

がん疼痛緩和がテーマ。WHO3段階除痛ラダーの基本的な方法は、理解していることを前提に講義を進めるため、基礎編の講義を希望する場合は、事前に相談すること。オピオイドローテーションや投与ルート変更方法などの計算、個別性を加味した設定方法、合併症があるときの除痛方法など演習と討論を中心に講義を進める。

第7回 平成26年9月18日(木) 16:50-18:20

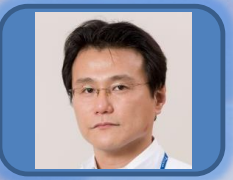


タイトル:『海外の緩和医療の現状と臨床英語』

教員: 黛芽衣子(帝京大学医学部緩和医療学講座 助教)

患者に与える最良の医療を提供するにはその施設あるいは地域における医療システムを十分に理解し、リソースを有効活用し、連携をはかることが大切である。また、どの国でも完璧な医療システムというの存在せず、その地域の事情に合わせて医療システムが発展してきた経緯があるが、他国の事情を学ぶことは自国のシステムを客観的に捉える上で重要である。それらの理由からこの講義では海外における緩和医療の現状に触れ、本邦での事情を客観的にみる機会となればと思う。また、臨床現場で役立つ英会話も取り入れる。

第8回 平成26年9月18日(木) 18:30-20:00



タイトル:『患者支援; 患者教育としての医療・健康(補完代替療法含む)情報の読み解き方』

教員: 大野智(帝京大学医学部臨床研修医学講座 特任講師)

インターネットの発達により患者やその家族は、容易に医療・健康情報にアクセスできるようになった。しかし、発信されている情報の内容は玉石混濁で、情報量も膨大であることから、必要とされる正確な情報を入手できていない問題点が指摘されている。そのような状況を踏まえ、本講義では、患者支援をテーマに、医療・健康情報の読み解き方について解説する。また、正確な情報(エビデンス)を患者にどのように伝え、どう使うのか、「科学的根拠に基づいた医療(EBM)」の概念に則り、医療者-患者間のコミュニケーション法について紹介する。

第9回 平成26年9月25日(木) 16:50-18:20



タイトル:『倫理; 亜急性型~慢性型終末期の医療倫理』

教員: 有賀悦子(帝京大学医学部緩和医療学講座 教授)

生命倫理における終末期医療関連の問題について、解説する。臨床倫理四分制法などを用いたグループワーク、高齢者認知症患者に対する意思決定支援プロセスをテーマとした討論を通し、理解を深める。(参考図書; ユネスコ生命倫理学必修)

第10回 平成26年9月25日(木) 18:30-20:00



タイトル:『身体症状3; 呼吸困難と終末期の対応』

教員: 田中 桂子(がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科医長)

がん患者の症状は多彩である。呼吸困難感をはじめとする呼吸器症状、悪心・嘔吐の消化器症状、その他を含め主要な症状を取り上げ、日本緩和医療学会のガイドラインに則した標準的な治療戦略から日常的な工夫までを解説する。

Access Map

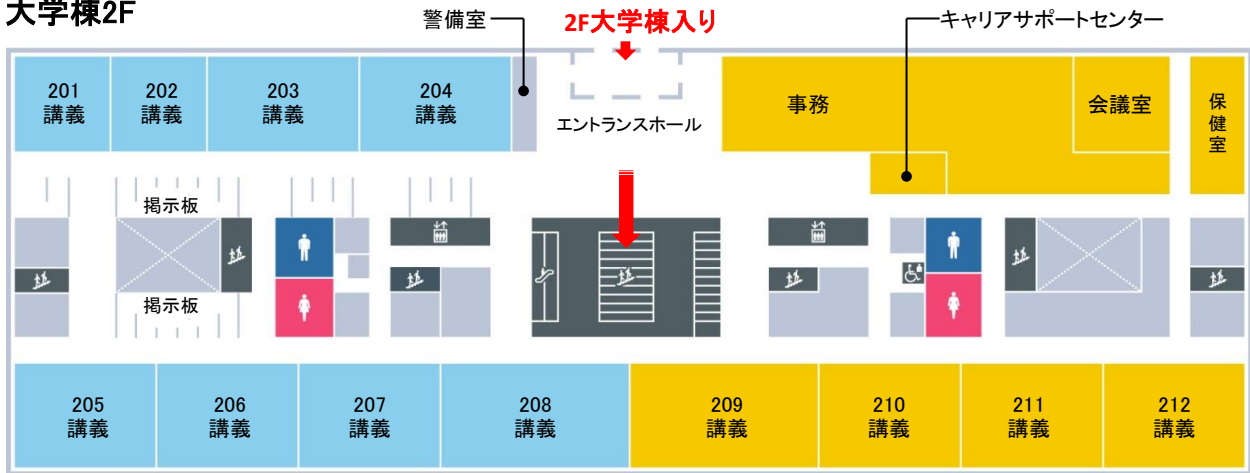


〒173-8605
 東京都板橋区加賀2-11-1
 TEL.03-3964-3294(直通)

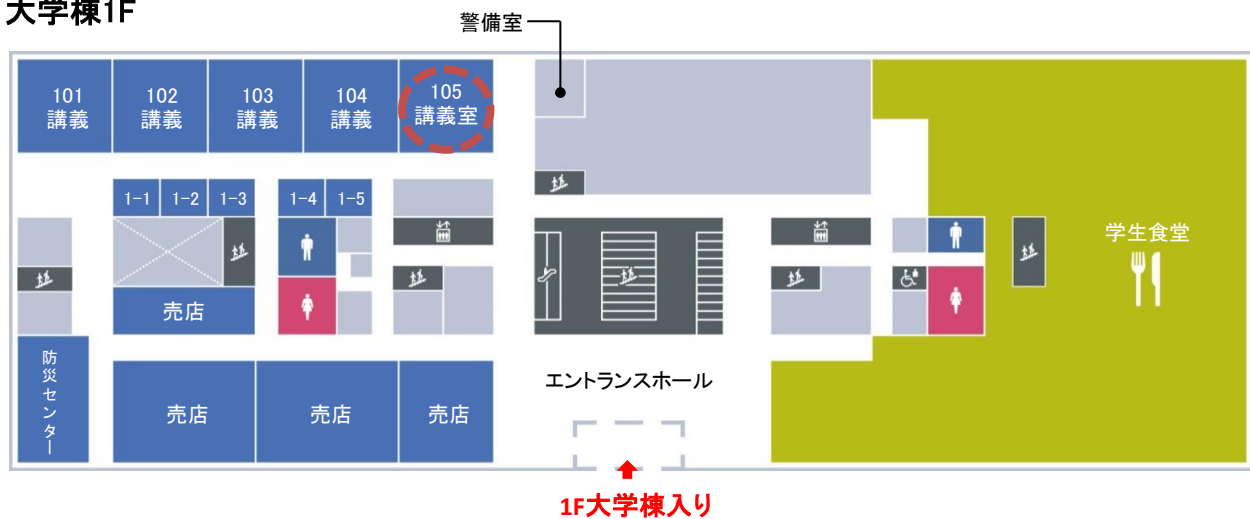
- JR埼京線「十条駅」北口下車、徒歩約10分
- JR京浜東北線「王子駅」下車、
 国際興業バス6番のりば 板橋駅行10分、
 「帝京大学病院」下車

Floor Map

大学棟2F



大学棟1F



帝京大学:都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育プログラム
受講申請書

次のとおり、都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育で開講している講義を受講したいので申請します。

● 科目名:特別講義Ⅳ 基本的緩和ケア医療人養成コース

※受講希望講義にチェックをしてください

チェック	No.	月日	時間	講義タイトル	担当教員
<input type="checkbox"/>	1	8月25日(月)	16:50~18:20	緩和医療概論と身体1;消化器症状の対処	大澤 岳史 講師
<input type="checkbox"/>	2	8月25日(月)	18:30~20:00	在宅緩和ケア;がんと非がんの緩和ケアの実際	平原佐斗司 外部講師
<input type="checkbox"/>	3	9月4日(木)	16:50~18:20	心理社会的ケア;がん医療における心理社会的ケア	浅井真理子 非常勤講師
<input type="checkbox"/>	4	9月4日(木)	18:30~20:00	精神スピリチュアルケア; 緩和医療における精神的ケア,スピリチュアルペイン概要	赤穂 理絵 非常勤講師
<input type="checkbox"/>	5	9月11日(木)	16:50~18:20	オピオイドの薬理; オピオイドの鎮痛効果を支配する薬物動態および脳移行性	出口 芳春 薬学部教授
<input type="checkbox"/>	6	9月11日(木)	18:30~20:00	身体症状2;痛みの対処	有賀 悦子 教授
<input type="checkbox"/>	7	9月18日(木)	16:50~18:20	海外の緩和医療の現状と臨床英語	黛 芽衣子 助教
<input type="checkbox"/>	8	9月18日(木)	18:30~20:00	患者支援;患者教育としての医療・健康(補完代替療法含む) 情報の読み解き方	大野 智 講師
<input type="checkbox"/>	9	9月25日(木)	16:50~18:20	倫理;亜急性型~慢性型終末期の医療倫理	有賀 悦子 教授
<input type="checkbox"/>	10	9月25日(木)	18:30~20:00	身体症状3;呼吸困難と終末期の対応	田中 桂子 外部講師
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					

※日程は変更となる場合があります。

大学名(勤務先・所属)		専攻・専門分野	
※指導教授(連携大学院生のみ記入) ⑩		※学籍番号(連携大学院生のみ記入)	
氏名	ふりがな	⑩ (男・女)	職業
生年月日	昭和 ・ 平成 年 月 日 (歳)		
連絡先	現住所		Tel(携帯)
	メールアドレス:		

事務部記入欄

No.

受付日 年 月 日 報告日 年 月 日

